

**宗川** 交差点改良事業の情報について、事業主体の千葉県との連携はどのように考えていますか？

千葉県と連絡を密にして、事業に関する情報がありましたら、すみやかにお知らせします。

**宗川** 交差点改良事業のお知らせ「鎌ケ谷大仏ニュース」などを再開する予定はないのですか？

千葉県は一定規模の工事を実施し、地元が大きく影響がある場合には配布をしてきており、今後も必要に応じて配布を検討していきます。

**宗川** 市道2902号線の現状と課題について伺います。

道路幅員は4.6mで、うち歩道は1.0m、車道は3.6mです。東鎌ケ谷二丁目地区の方の県道へのアクセス道路であり、車両がスムーズにすれ違いが出来ない状況が発生しており、市川印西線の渋滞発生の原因の一つになっています。



銀行の移転先と市道2902号線(通称 井草交差点)～道路幅員が5.8mに!

**宗川** 東鎌ケ谷地区の方から改善要望を聞くのですが、この対策について市の見解を伺います。

市道2902号線は県道との交差点(通称 井草交差点)から約20mの区間について、現状の道路幅員4.6mから1.2m広がり5.8mに整備されます。このように車道幅員が広がることで、以前と比較して車両同士のすれ違いが円滑になり、通行の改善が図られるものと考えています。

**宗川** 改善されて便利になりますが、今度は通称 井草交差点に車両が集中して、新たな交通問題が生じる可能性もあります。その点についての対応はどのように考えていますか？

道路の幅員が広がることにより、交通状況に変化が生じる可能性があります。車両、歩行者などの通行状況を注視し必要に応じて、現状の道路の中で対応可能な安全対策について千葉県や警察と協議し検討します。

まとめと要望

鎌ケ谷大仏交差点改良事業については、千葉県が事業主体ですが、地元市あつての事業です。情報の共有と地元への情報発信や市の街づくりという観点から移転先にある課題を、地権者の協力を頂きながら解決していく、さらに、これから移転される方は、ほとんどの方が鎌ケ谷市民ですので移転先に際しての相談などに、市の担当部局がしっかりとフォローしていけるように、市は千葉県と今以上に連携して事業を進めて頂くことを要望しました。

**3 皇位継承に伴う大型連休中の公共サービスの対応について**

**一般質問** 大型連休中の施設の実施状況は広報などで、わかりやすくお知らせします!



天皇の即位の日である5月1日は祝日となり、祝日法の規程により、4月27日から5月6日までには祝日となります。この大型連休中の本市における公共サービスについての対応方針を聞き、実施する公共サービスでの職員や緊急時の対応、さらに広報等での周知について質問をしました。

**宗川** 大型連休中に実施する行政サービスについて伺います。

- 41施設の状況
- 1 市庁舎・総合福祉保健センターは10日間閉庁。
  - 2 10日間開館を予定している施設は公民館、さらに鎌ケ谷市民会館、各スポーツ施設。
  - 3 児童センター・コミセンの一部は施設メンテナンス日を1日設けるが、基本的に開館を予定。
  - 4 保育園は4月27日のみ開園、郷土資料館は4月27日・28日のみ開館を予定。その他、パスポートの交付については4月28日・5月5日に実施する予定。コミュニティバスの運行は10日間運行する。ごみの収集は4月28日と5月3日から6日までの5日間は収集を行いません。

好きです!このまち かまがや!

鎌ケ谷市議会議員

そ う か わ

つなげよう!  
~未来のふるさと、かまがや~

宗川 よういち

後援会だより 市議会レポート 春号

宗川よういち事務所 〒273-0122 鎌ケ谷市東初富3-8-47  
TEL・FAX 047-412-2189  
E-Mail sohkawa-yohichi@jcom.zaq.ne.jp



暖かな春の日差しに市制記念公園の木々も若葉に変わり眩しくなってきました。

日頃より、宗川よういち、並びに後援会にご支援をいただきありがとうございます。

昨年7月の鎌ケ谷市議会補欠選挙で当選して、3月定例会で2回目の一般質問を行いました。再び議場の登壇席に立ちまして、ますます鎌ケ谷市を「ふるさと」と思えるよう、そして、これからも「住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めていき「未来のふるさと、かまがや」へつなげていきたいという思いが強くなってきました。と同時に初心を忘れず、行政での34年間の経験と多彩なネットワークを活かし、市民の皆様と共に「笑顔で暮らせるオンリーワンのまち かまがや!」を目指してまいりたいと思います。

さて、私が3月定例会の一般質問で取り上げましたのは、「救急医療体制の現状と改善策について」と「鎌ケ谷大仏交差点改良事業について」そして「皇位継承に伴う大型連休中の公共サービスの対応について」の3点でございます。

是非、市民の皆様のご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお祈いします。

そうかわ 宗川よういち

宗川よういち プロフィール

鎌ケ谷市東初富3丁目在住

- |          |                             |                           |
|----------|-----------------------------|---------------------------|
| 昭和32年9月  | 東京都葛飾区新小岩に生まれる。             | 鎌ケ谷市青少年相談員 第10~13期        |
| 昭和51年3月  | 千葉県立国分高校卒業                  | 初富小学校おとうちゃんの会             |
| 昭和56年3月  | 中央大学理工学部卒業                  | 現在、中央大学白葉会 特別会員           |
| 昭和56年4月~ | 日立プラント建設(株)<br>(株)日立製作所と合併) | <b>家族</b> 妻、娘2人、息子2人の6人家族 |
| 昭和59年4月~ | 鎌ケ谷市役所入庁                    | <b>趣味</b> 映画鑑賞、山登り、釣り     |
| 平成30年3月  | 鎌ケ谷市役所を定年退職                 | <b>好きな言葉</b> 一期一会、ありがとう。  |



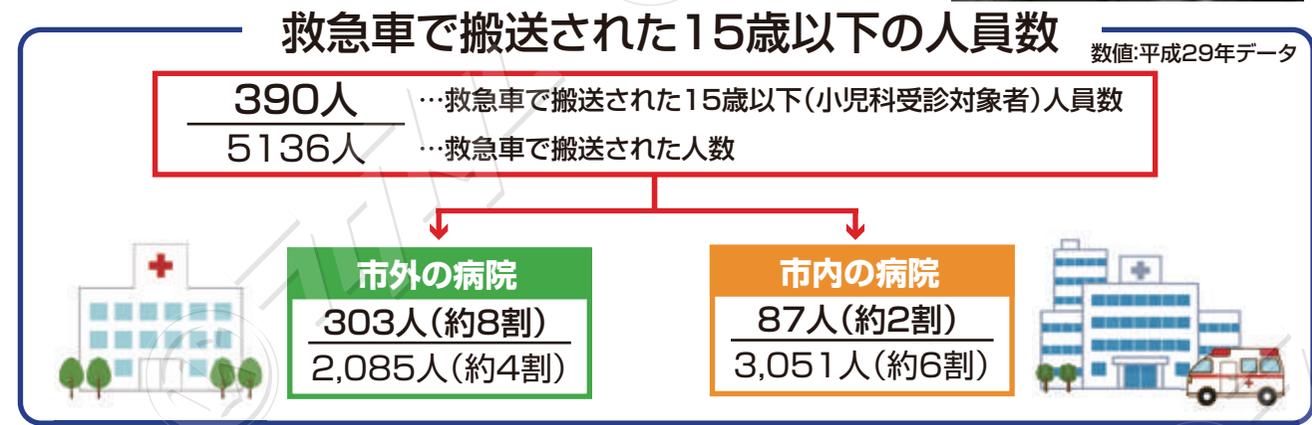
# 1 救急医療体制の現状と改善策について

**一般質問 小児救急の医療体制の整備を!!**  
**国や県にしっかりと要望活動をして欲しい!!**

2次救急医療機関の鎌ヶ谷総合病院には、市内外から年間約4,800人の方が救急車で運ばれてきます。平成19年秋の開院に向けて、市と鎌ヶ谷総合病院は協定書を交わしました。その中で病院側は「365日24時間対応可能な小児救急の医療体制の実現」に取り組んできましたが、なかなか実現しない状況があります。この現状と課題を明らかにして、これからの小児救急の医療体制の整備についての病院と市の役割、そして改善策について質問をしました。



## 小児救急の現状について



小児科を受診できる市内の病院は14医療機関。  
一昨年、市内外の病院に5,136人の方が救急車で運ばれました。内訳は市内の病院には、3,051人で全体の約6割、市外の病院には2,085人で全体の約4割となっています。その中で小児救急で搬送された子どもは、全体で390人、内訳は市内の病院には、87人で全体の約2割、市外の病院に303人で全体の8割となっています。小児救急に関しては、約8割の子どもが市外の病院に救急搬送されていることがわかりました。

→ ますます鎌ヶ谷総合病院との基本協定書にある「365日24時間対応可能な小児救急の医療体制の実現」が望まれる状況にあります。

**宗川** 基本協定書の内容とその達成状況はどうなっていますか?

基本協定は概ね達成されていますが、診療科目のうち産科が未設置で、医療機能のうち、365日24時間対応可能な小児救急と女性専用外来診療の実現が達成されていません。

**宗川** 「365日24時間対応可能な小児救急の医療体制の実現」に向けて、どのような対応をしてきたのでしょうか?

市では大学の医局に小児科医師の派遣をお願いするほか、協定を守ることを鎌ヶ谷総合病院に要請してきました。鎌ヶ谷総合病院としても徐々に医師の人数を増やし、夕方診療の開始や拡大、小児救急の受付時間を拡大して平日の22時までに行っていました。諸事情により医師が一斉に3人退職すると申し出があり、診療時間と小児救急の対応を縮小せざるを得ない状況となりました。

**宗川** 小児科医師が不足していることを市としては、何が原因と考えていますか?

小児科医師は全国の小児人口10万人に対して、鳥取県が最も多く174人、最も少ないのが茨城県78.7人、千葉県は85.8人と全国で44番目と少なく、地域に偏りがあります。また、小児科は、急性疾患が多く治療期間が短いこともあり、診療報酬は他科に比べ低く、反対に手間と人件費は大人の何倍もかかる診察科となっていることから、採算性や少子化を理由に小児科を敬遠する傾向などがあり、小児科医師を志す方が増えない状況があります。

**宗川** 鎌ヶ谷総合病院は現状をどのように改善しようと考えていますか?

鎌ヶ谷総合病院の事務局との話では、引き続き小児科医師を探すことを最優先事項として、鋭意力を尽くすとのことでした。(ハローワークや医師等の紹介会社への登録や県内外の大学病院の医局を回るなど)

**宗川** 市は病院の対応を踏まえて、現状をどのように改善しようと考えていますか?

- 小児救急体制が取れるまでの間、大きく4つの取組みをしていきます。
- 1 子どもの体調が悪くなった時に健康診査等で受診可能な医療機関や受診の目安、相談先などのお知らせをするとともに、病院の地図情報と検索機能のある「かまがや安心医療ナビ」を活用していただけるように広くお知らせをしていきます。
  - 2 子どもの体調をよく知っていただき、体調の変化に気づいたら診療体制の整っている昼間のうちに早めに受診することや、受診をするかを悩んでいる場合は、小児救急電話相談などを活用していただき、その対応方法についてお答えしていきます。
  - 3 小児科医師の確保や地域の偏(かたよ)りは全国的な課題でもり、機会あるごとに国や県などに要望していきます。
  - 4 従前、船橋市と協定を締結して行っていた方法や小児科専門の医師以外でも、一次救急として受け入れが難しいかなど、安定した小児救急体制について、調査研究をしていきます。
- 鎌ヶ谷総合病院には、引き続き基本協定を守ることを最優先事項として、小児科医師の確保と診療時間や救急受付時間の拡大ができるようお願いをしています。  
また、市民のご要望を確認しながら、小児救急体制が取れるまでの間の方策について話し合い、市としてできる対応をしていきたいと考えています。

**まとめと要望** 子どもの具合はいつ何時悪くなるのかは、わかりません。その子どもたちを受け入れる365日24時間対応可能な小児救急医療体制が整備されていないという現実と、鎌ヶ谷総合病院だけで解決できる問題ではないこともわかりました。全国的な小児科医師の不足や地域の偏りを国や県にレベルで解消していく必要があるものと思います。そのため、国や県などへの要望事項として、市の中で優先順位を上げて、しっかりと要望活動をしていただくように要望しました。

# 2 鎌ヶ谷大仏交差点改良事業について

**一般質問 長年の懸案であった市道2902号線の道路幅が広がります!**

京葉銀行の移転の見通しがついたことで、鎌ヶ谷大仏交差点改良事業のさらなる進捗が期待できることになりました。移転先の北側に接する市道2902号線(通称 井草交差点付近)については、以前より改善要望の多い箇所でありました。今回、銀行の移転に伴い、市のまちづくりとして千葉県と連携して、どのように対応していくのか質問をしました。



移転が決まった京葉銀行前(鎌ヶ谷大仏交差点)